

業高校の卒業生でつくる

「江工会」の有志は十四日、地場産業の石州瓦業者と意見交換をする交流会を同校江工会館で開き、関東や関西など大市場での販路拡大について、さまざまな意見を示した。

大都市圏の建築業界で

活躍する同校OBが、愛着が深い石州瓦の販路開拓を支援しようとして、開校七十周年記念事業として開いた昨年に続いての開催。会員有志六人と石州瓦工業組合幹部四人ら計十三人が出席し

た。

関東の江工会会員は「都心に石州瓦を使い、ヒートアイランドの有効性を訴えてはどうか」と提案。同組合は「データをとって石州瓦の優秀さを伝えたい」と答え、引き続き協力を求めた。

同組合は、関東地方での石州瓦の販路拡大を狙って、益田市の県芸術文化センターのオープンに合わせて、十一月に東京で瓦のPRイベントを計画している。

石州瓦販路拡大へ

業者と意見交換

「江工会」有志

江津市江津町の江津工